

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	山岸良浩
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3781
事務事業名	4338 消防機械力整備事業						
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署						
施 策	03021400 消防・救急体制の充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	090101 消防費・消防費・常備消防費					
	事業	030000 消防機械力整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
消防車両及び資機材等の計画的な整備・更新を行い、消防力の充実強化を図る				経年機能低下する消防車両・資機材等の更新及び充実強化			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ポンプ2号車の更新	化学車（平成7年購入）の更新 水槽車（平成8年購入）の更新 はしご車性能検査
平成29年度 予定	平成30年度 予定
高圧空気充填機 水槽付消防ポンプ車の更新	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	出火率の減少				
算式	-				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-		
	実績	-			
指標選定の理由	-				
最終年度目標の根拠	-				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		147,192	39,670
特定財源	国庫支出金	15,699	10,322
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1,410
一般財源		131,493	27,938
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,609.5	3,609.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,609.5	3,609.5
市民一人当たりの経費		2.9	0.8
総額		150,801.5	43,279.5

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	29,160	35メートル級はしご付消防車性能検査委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	118,032	手数料、保険料、車両購入費、重量税

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	39,670	手数料、保険料、車両購入費、重量税

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防機械力を維持及び更新し、消防力の充実に重要 消防力整備指針に基づいた整備	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	経年劣化により性能低下する車両及び資機材を整備し消防力が向上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	補助事業などを活用し財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
最新型の機器を導入し、高度な消防活動ができるよう努める 有利な補助事業等にアンテナを張る

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
消防力の整備指針及び実施計画に基づき、機械力の強化、維持を図り適切な時期に車両や器具の更新を図っており、今後も計画的に事業を推進し、市民の安全・安心の向上を図る。 今後も有利な補助事業の情報を収集し事業を進める。		計画的に更新が図れており、消防力の持続をするには今後も計画的更新を継続していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	